

開催日時	西暦 2019 年 8 月 5 日 (月) 18:05 ~ 18:35
開催場所	医療法人財団荻窪病院 別館 4 階 研修室
出席委員	委員長：石井康宏 副委員長：河野亨 委員：吉見猛、倉澤正子、川村勇人、田中弘幸、矢澤紀子、関野真市、太田大三、成瀬健太郎、中村圭太、山岸竜生

審 議 内 容	
	<p>【審議事項】</p> <p>議題 1 レオファーマ株式会社の依頼による過去の tralokinumab 治験に参加したアトピー性皮膚炎患者を対象に tralokinumab の安全性及び有効性を評価する非盲検、単一群、多施設共同長期延長試験-ECZTEND</p> <p>安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。</p> <p><u>審議結果：承認</u></p> <p>議題 2 ノボ ノルディスクファーマ株式会社の依頼によるインヒビターを保有する血友病 A 及び B 患者を対象とした concizumab の予防治療における有効性及び安全性を検討する多施設、無作為割り付け、非盲検、比較試験</p> <p>当院で発生した重篤な副作用について当該治験を継続することの妥当性について審議した。 当院で発生した重篤な副作用について当該治験を継続することの妥当性について審議した。 安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。</p> <p><u>審議結果：承認</u></p> <p>議題 3 ノボ ノルディスクファーマ株式会社の依頼によるインヒビターを保有しない重症型血友病 A 患者を対象とした concizumab の予防治療における有効性及び安全性を検討する多施設共同試験</p> <p>安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。 治験期間が 1 年を超えるため、治験を継続して行うことの妥当性について審議した。</p> <p><u>審議結果：承認</u></p> <p>議題 4 ノボ ノルディスクファーマ株式会社の依頼によるツロクトコグアルファペゴル (N8-GP) による治療歴がある重症型血友病 A 患者を対象とした出血予防治療における N8-GP の安全性及び有効性</p> <p>安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。</p> <p><u>審議結果：承認</u></p>

議題 5 ノボ ノルディスクファーマ株式会社の依頼による治療歴のない血友病 B 患者を対象とした nonacog beta pegol (N9-GP) の安全性及び有効性の検討

安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 6 ノボ ノルディスクファーマ株式会社の依頼による治療歴のある小児血友病 B 患者を対象とした NNC-0156-0000-0009 の安全性、有効性及び薬物動態、第 III 相臨床試験

治験に関する変更について当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 7 パレクセル・インターナショナル株式会社の依頼による治療歴のある成人重症血友病 A 患者を対象に、Human-cl rhFVIII による個別化定期補充療法の有効性及び安全性を評価する前向き、非盲検、多施設共同第 IIIb 相試験

安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 8 サノフィ株式会社の依頼による ATLAS-INH：第VIII因子または第IX因子に対するインヒビターを保有する血友病 A または B 患者を対象として fitusiran の有効性と安全性を評価する第 3 相試験

安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

治験に関する変更について当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

議題 9 サノフィ株式会社の依頼による ATLAS-PPX：凝固因子またはバイパス製剤による定期補充療法を受けている血友病 A および B 患者を対象として fitusiran の有効性と安全性を検討する国際共同、非盲検切替え試験

安全性情報に基づき当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

治験に関する変更について当院で当該治験を継続することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

【報告事項】

報告 1 中外製薬株式会社の依頼による第 I / II 相臨床試験

治験の終了について報告がされた。

報告 2 ファイザー株式会社の依頼による日本人成人の慢性腰痛症患者を対象とした Tanezumab の第 3 相試験

治験の終了について報告がされた。

報告 3 レオファーマ株式会社の依頼による過去の tralokinumab 治験に参加したアトピー性

	<p>皮膚炎患者を対象に tralokinumab の安全性及び有効性を評価する非盲検、単一群、多施設共同長期延長試験-ECZTEND</p> <p>治験に関する変更について報告がされた。</p> <p>(西暦 2019 年 7 月 1 日迅速審査実施、西暦 2019 年 7 月 2 日承認)</p>
特記事項	